

広報・PI チーム 会議録

会議の名称	川口市自治基本条例策定委員会 第19回広報・PI チーム
開催日時	平成21年1月15日(木)10時00分から11時50分
開催場所	川口市職員会館 2階 講座室A
出席者	(リーダー)伊田(昭)委員 永瀬委員、堀和委員、林委員、庵地委員
会議内容	条例策定後の広報活動について
会議資料	・伊田(昭)委員作成、運用推進委員会への提案(案)
発言内容	<p>条例策定後の広報活動について</p> <p>チームリーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月20日の運営調整部会に提出する、自治基本条例策定後の広報活動に関しての運用推進委員会への提言事項について、議論したい。 ・まずは私案だが、設置時期はできるだけ早くして欲しいが、それまでは行政に出来ることはやって欲しい。また、活動の年度計画の策定をして欲しい。 ・盛り上げには、市民、行政、議会が一体となった、何か新しい活動、次世代を重視した広報活動を議論して欲しい。 ・具体例として、広報紙、ホームページの利用、転入者に対して配布、学識経験者の先生方による出前講座、ワークショップを公民館等で行うなどを提案したい。また、ビデオ、パワーポイントをツールとして作ってはどうか。さらに、下位条例の進捗状況の管理についてや、教育委員会へ話をして、子どもへの副読本採用なども提言したい。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運用推進委員会にやってもらいたいことと、委員会が立ち上がる前の話が混じってしまっているのではないかと。提案の際は、運用推進委員会への要望という形になるのだから、それは整理すべきだろう。 ・設置時期等のくだりは、広報PI チームからの提案としては違う気がする。 ・立ち上がる前に、何か組織はつくれないのか。ボランティアという形でもよい。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政で組織をつくるとなると、手続き的に運用推進委員会をつくるのと変わらない。独自のボランティア活動ということなら、そもそも行政からの制限がある話ではない。

- ・下位条例づくりは、いつどのようなメンバーになるのか。
- ・それはこれから条例ごとに話し合うことになるのだろうが、協働条例などは、その策定過程には、運用推進委員会でも見守っていくということなのだろう。
- ・運用推進委員会の構成などは、運営調整部会で話し合っているのであれば、ここであまりいろいろ言うべきではない。
- ・運用推進委員会への要望と、行政に対する要望と分けた方がいいだろう。

事務局

- ・具体的な方法のところに「わかりやすい」「親しみやすい」とあるが、これは口で言うほど簡単ではない。それこそ、この場で考えていただきたい内容だ。
- ・広報の方法として、運用推進委員会立ち上げまで、行政側は何をするのか。

事務局

- ・現在決定しているのはパンフレットの作成だ。
- ・他に、行政に策定以降の計画は無いのか。
- ・運用推進委員会が必要だとなれば補正予算なりつくだろうから、ここであまり行政の計画をといっても仕方がないのではないか。
- ・何をやるかは、広報 PI チームから提案していくことが大切ではないのか。我々策定委員は、条例の産みの親として、やっていくことがあるのではないか。
- ・行政に対しては、立ち上がりまでは積極的に活動することを提案したい。例えば、子どもにまちづくりをテーマに、絵を描かせ、コンクールを行うなどだ。教育委員会と煮つめて、自治基本条例を根付かせるために、総合学習に取り入れるなどできないか。教師だけでは、なかなか踏み出せないで、教育委員会がプッシュするようにしてもらいたい。
- ・校長も含めて、教師に直接では酷だろう。親も巻きこむ形で考えたい。
- ・今は親が子供の学習内容に関心をもっていないので、巻きこめるか。
- ・自治は自分たちがどう主体的に関わるかだと思うが、みんなというと、今の子は自分以外のみんなだとなってしまう。「私が」という形にできないか。
- ・教師は川口市民でない人が多いので、正直関心がないだろう。
- ・地方自治は川口市にだけあるのではない。自分が住んでいるところに興味をもつことに意味はあるだろう。
- ・校長会にお願いするのがいいのではないか。

- ・先生同士の総合学習の研究会でというルートもあるが、根回しはいるかもしれない。アプローチには教育委員会の協力はいらぬか。
- ・たくさんの要望を出すのもいいが、内容は絞ったほうがいいのではないか。
- ・運用推進委員会に材料をたくさん提供するという考えでここに挙げた。
- ・運用推進委員会でも広報 PI に力を入れてもらいたい。
- ・市民のための条例なので、知ってもらわなければいけない。ずっと続けていかなければいけない活動だ。運用推進委員会でも続けていかなければいけない。
- ・外国籍住民のことも考えて外国語バージョンも作れないか。
- ・運用推進委員会では広報 PI、とくに PI は人数的に無理だろう。
- ・それでも役割として、広報 PI を入れるということだ。
- ・これらの提案は、次の運営調整部会で一つ一つ議論できるわけではないだろう。これというものを提案した方がいい。
- ・たくさん項目があっても、記述したものが運用推進委員会の手に渡るようにすればいいのではないか。

事務局

- ・やはり内容を行動主体別に整理してはどうか。事務局への要望と、運用推進委員会への要望とだ。
- ・事務局でまとめてもらえないか。

事務局

- ・事務局にすべて任せてもらうのならよいが、委員さんにもこうしたいという思いがあるのなら委員さんにやってもらったほうが良いのではないか。
- ・これからの広報 PI は協働して進めてもらいたい、協働条例はまだできていないので、協働してとはならないのではないか。

事務局

- ・4月からは自治基本条例がスタートするので、第5条に基づいてということになる。そもそも協働条例ができていないからといって、それまでの間の協働が否定されるわけではない。
- ・協働による広報 PI を行政主導で進めて欲しい。

	<p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働というならば、行政にすべて任せるとするのは違うのではないかと思う。 ・市民から行政に、協働の働きかけをするということだ。市民主導で、自治基本条例についてのイベントなども考えている。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙を活用するということだが、全条載っているものを配るのに、さらに何を載せるのかということがある。 ・目に留まる機会が何度もあればよい。いろいろな記事と関連付けができればよい。 <p>チームリーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20日の運営調整部会では説明だけで終わりになるだろう。運営調整部会長、副部会長に今日の提案を読んでおいてもらえればと思う。 ・運営調整部会での話し合いはどうなっているのか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の確定事項は全委員に郵送している。それに基づいて、各検討部会で話し合いをしているが、そこでの意見は20日締め切りだ。 <p>チームリーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の議論を踏まえて提案をまとめなおす。そのうえで、事務局と調整して当日配るようにしたい。19日の朝に送るので、事務局で修正して、その日のうちに送り返してもらいたい。 ・広報PIチームの会議も今日で終わりになるかと思う。お疲れ様でした。
次回以降日程	